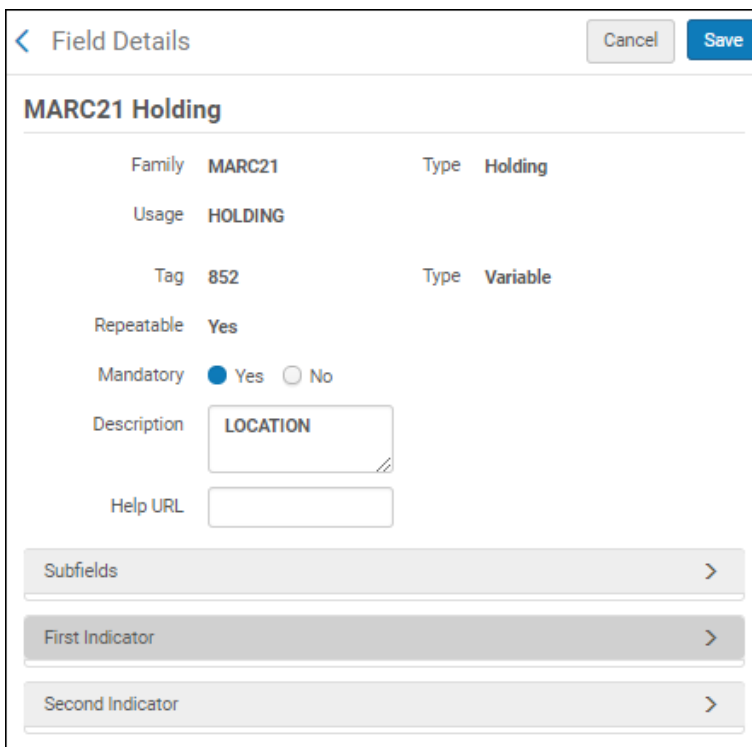


所蔵レコードの操作

所蔵レコードには、配架場所、所蔵アイテム、（該当する場合）公開パターン、メモなどの所蔵情報が含まれています。所蔵レコードは、関連する書誌レコードに依存リンクされています。Almaでは、MDエディタ、プロフィールのインポートジョブ、または所蔵情報の変更ジョブを使用して、所蔵レコードを作成もしくは編集することができます（詳細については、[所蔵情報の変更](#)を参照）。

MARC 21所蔵メタデータの設定

MARC21所蔵メタデータ設定プロフィールでは、Almaの所蔵フィールド/サブフィールドをカスタマイズする方法および検証する方法を決定することができます。例として、852フィールドをカスタマイズすることができます。



< Field Details Cancel Save

MARC21 Holding

Family	MARC21	Type	Holding
Usage	HOLDING		
Tag	852	Type	Variable
Repeatable	Yes		
Mandatory	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No		
Description	<input type="text" value="LOCATION"/>		
Help URL	<input type="text"/>		

Subfields >

First Indicator >



Second Indicator >

852フィールドの設定の第1インジケータセクションでは、第1インジケータに保存される値を決定することによって、シエルフスキームや請求番号タイプを指定することができます。

First Indicator

First Indicator

Mandatory Yes No

Value	Description
1 1	Dewey Decimal classification
2 0	Library of Congress classification
3 2	National Library of Medicine classification
4 #	No information provided
5 8	Other scheme
6 6	Shelved separately
7 4	Shelving control number
8 7	Source specified in subfield \$2
9 3	Superintendent of Documents classification
10 5	Title

例えば、この情報は請求番号タイプの「シェルフリポート」オプションに表示されます。

Shelf Report

Inventory

Inventory definition Range Set

Library *

Call number type *

From call number * No information provided

To call number * Library of Congress classification

Select File

File

- National Library of Medicine classification
- Superintendent of Documents classification
- Shelving control number
- Title
- Shelved separately
- Source specified in subfield \$2
- Other scheme

詳細については、「[MARC 21所蔵プロファイルの操作](#)」を参照してください。

MDEでの所蔵レコードの作成

MDエディターを使用して所蔵レコードを作成します。所蔵レコードが存在するためには、書誌レコードにリンクされている必要があります。

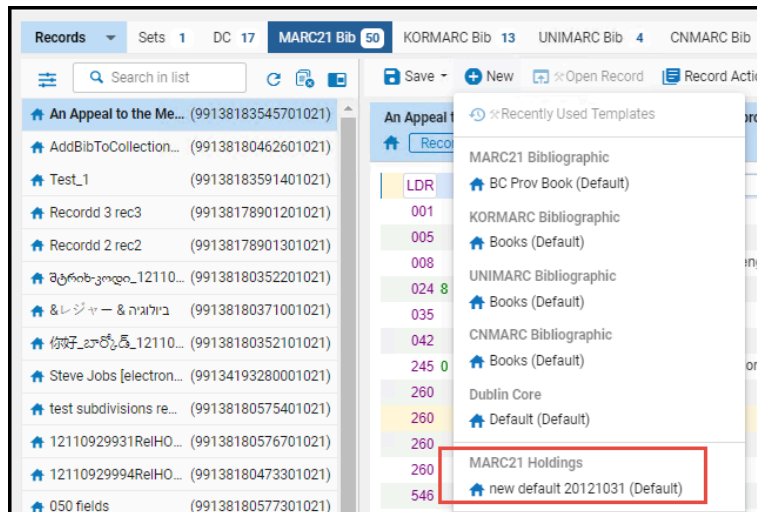
Note

use_holdings_formパラメーターは、所蔵レコードの作成/編集に使用できるオプションに影響します。詳細については、[use_holdings_form](#)を参照してください。

MARC21所蔵レコードを作成するには：

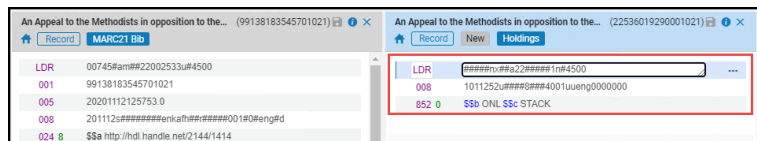
1. MDエディタで書誌レコードを開く（または作成する）。
2. 以下のいずれかの方法で所蔵レコードを作成し、その後、以下の手順3および4に進んでデータを入力・保存してください。

デフォルトの所蔵テンプレート法：**[新規] > [MARC21 所蔵]**を選択します。



[ファイル] > [新規] > [MARC21 所蔵]

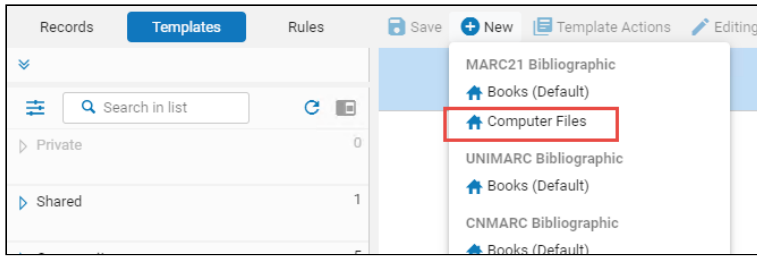
MDエディターを分割画面モードで開くと、MARC21のデフォルトの所蔵テンプレートが右側の領域で開かれます。



MARC21所蔵テンプレート（分割画面モード）

代替所蔵テンプレート法：**[新規] > [MARC21 所蔵]**を選択します。

1. テンプレート領域を表示します。
2. MARC21 所蔵テンプレートのリストから代替（デフォルト以外）所蔵テンプレートを選択し、**[新規]**を選択します。



代替の所蔵テンプレートの選択

MDエディタが分割画面モードで開き、右側の領域に代替所蔵テンプレートが開きます。

3. 所蔵データを入力します。MDエディタでの作業に関する追加情報、特に所蔵レコードに関連する[ツール]> [MARC21所蔵]メニューのオプションの説明については、[MD エディタメニューとツールバーオプション](#)を参照してください。
4. [保存] アイコンを選択します。レコードの保存に関する追加情報については、[MDエディタでのレコードの保存](#)を参照してください。

アイテムに基づく所蔵概要ステートメントの自動生成

Almaは所蔵レコードを作成する際の生産性を向上させるオプションを提供します。特に次のものを自動的に作成/生成することができます。

- 863/864/865フィールド
- 866/867/868フィールド

これらのフィールドの自動生成は、次の方法で処理されます。

- 正規化タスク **MARC21 Expand Holding By 866/7/8 Task**（以前は **marc21ExpandHoldingBy86XTask** と呼ばれていました）は、既存の853/854/855フィールドと863/864/865フィールド（自動生成または手動入力）の組み合わせを使用して866/867/868所蔵概要フィールドを作成します。
- 正規化タスク **MARC21 863/4/5**タスクによる所蔵の展開は、所蔵レコードの853/854/855フィールドにリンクされたアイテムの存在と到着に基づいて、863/864/865フィールドを自動的に生成します。
- 853/854/855フィールドは、受入プロセスの一部として処理され、次の方法で管理されます。
 - アイテムが予測パターンから作成されると、所蔵レコードの853/854/855フィールドへのリンクが自動的に作成されます。詳細については、[予測パターンコンテンツを有する所蔵レコードの作成](#)を参照してください。
 - アイテムが予測パターンから作成されていない場合、アイテムのパターンタイプとリンク番号を手動で更新する必要があります。

Pattern Information	
Pattern type	<input type="text"/>
Linking number	<input type="text"/>
Type of unit	-

パターンタイプとリンク番号

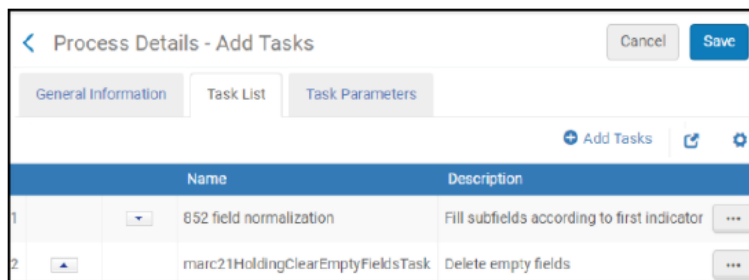
Note

詳細については **所蔵**ステートメントの自動化されたプロセスにある [以下のプレゼンテーション](#) を参照してください。

この機能を実装するには、MARC21**所蔵**プロファイルを設定する必要があります。以下の手順を参照してください。

アイテムに基づいて**所蔵**ステートメントを自動的に生成するように、MARC21**所蔵**プロファイルを設定する方法：

1. [メタデータ設定] ページを開きます（[設定 > リソース > 目録 > メタデータ設定]）。
2. **MARC21所蔵**リンクを選択します。[プロファイルの詳細] ページが表示されます。
3. [正規化プロセス] タブを選択します。
4. 行アクションリストから、[保存時にMARC21所蔵を正規化]などの正規化プロセスの1つに対して[編集]を選択します。[プロセスの詳細] ページが表示されます。
5. [タスクリスト] タブを選択します。



プロセス詳細タスクリストタブ

6. [タスクの追加] を選択します。
7. 次のプロセスを選択し、終了したら [追加して閉じる] を選択します。
 - MarcDroolNormalization
 - 863/4/5タスクによるMARC21**所蔵**展開
 - 866/7/8タスクによるMARC21**所蔵**展開

Note

この概要説明には 20文字までの制限があります。制限を超えると、一部の説明が切り捨てられた状態で表示されることがあります。

正規化タスクが実行される順序を並べ替えることができます。MARC21 863/4/5タスクによる**所蔵**の展開を選択する場合、866/7/8フィールドの生成のために863/4/5（および853/4/5）がリンクされているため、MARC 21 866/7/8タスクによる**所蔵**の展開に先行する必要があることに注意してください。

MARC21 863/4/5タスクによる**所蔵**の展開およびMARC21 866/7/8タスクによる**所蔵**の展開を使用する場合は、[MarcDroolNormalization]タスクを選択して、[保存時にMARC21**所蔵**を正規化]でレコードを保存するたびに作成される重複した863/864/865および866/867/868フィールドの削除処理をする必要があります。[選択されたプロセス]セクションでは必ずそれらがるMARC21 863/4/5タスクによる**所蔵**の展開の前にある必要があります。以下は、[MarcDroolNormalization] タスクのサンプル正規化ルールです。

```

rule "delete 863 4 5 6 7 8 if it does not have subfield 8 9"
when
  (TRUE)
then
  removeField "863" if (not exists "866.8.9")
  removeField "864" if (not exists "867.8.9")
  removeField "865" if (not exists "868.8.9")
  removeField "866" if (not exists "866.8.9")
  removeField "867" if (not exists "867.8.9")
  removeField "868" if (not exists "868.8.9")
end

```

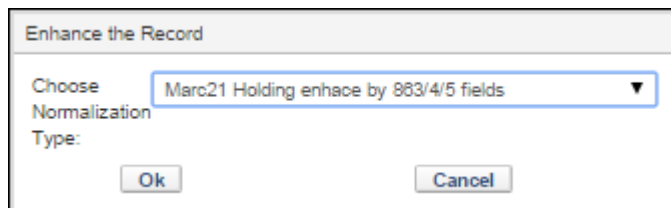
詳細については、[所蔵概要の自動化タスク](#)を参照してください。

8. **[保存]**を選択します。**[保存時にMARC21所蔵を正規化]**オプションを選択した場合、MDエディターでレコードを保存すると、Almaは863/864/865フィールドと866/867/868フィールドを自動的に生成します。

〔レコードの強化〕を使用して**MDエディタ**で**所蔵概要**フィールドを自動的に生成する方法

1. MDエディタで**所蔵概要**フィールドを生成する**所蔵**レコードを開きます。
2. **〔編集>レコードの強化〕**を選択します。

〔レコードの強化〕ダイアログボックスが表示されます。



3. 863/864/865フィールドでレコードを**拡張**するための正規化オプションを選択し、**[OK]**を選択します。

同じ**所蔵**レコードで時間をかけて作業を続けると、〔レコードの強化〕機能により、レコードには最新の**所蔵/アイテム**のセットを表す新しい**863/4/5**フィールド（行）が追加されます。これと同じロジックは、既存の手動で入力されたレコードにも適用されます。レコードの**拡張**オプションを選択すると、手動で入力された既存の**863/4/5**フィールドに加えて、新しい**863/4/5**フィールドが生成されます。**所蔵**レコードから既存の**863/4/5**フィールドを削除するには、それを実行する正規化ルールを作成し、〔レコードの強化〕オプションを使用してルールを選択して実行します。詳細については、[正規化ルールの操作](#)を参照してください。

MDエディタでは、正規化処理のために次のステータス情報メッセージがポップアップで表示されます。

- レコードが正常に更新されました
- 次のエラーでレコードが正常に更新されました - このメッセージの後に、取得されたエラーのリストが続きます。
- レコードの更新に失敗しました - このメッセージの後に、取得されたエラーのリストが続きます。

MARC21以外の書誌基準（**UNIMARC**、**KORMARC**、**CNMARC**など）の**所蔵**レコードを作成するには：

1. **MARC21**プロセスと同様に、**所蔵**レコードを追加する書誌レコードを見つけて、MDエディターで開きます。
2. **〔所蔵の追加〕**アイコン（**Ctrl + Alt + H**）または**〔ツール>MARC書誌>所蔵の追加〕**を選択します。システムは、**MARC21**の**所蔵追加**テンプレートを開きます。
3. **所蔵**コンテンツを入力します。
4. **〔レコードを保存〕**アイコン（**Ctrl + S**）を選択します。

Note

Dublin CoreまたはMODS書誌レコードに所蔵レコードを追加することはできません。

所蔵レコードの更新

このセクションでは、所蔵レコードを変更する方法について示します。

所蔵レコードのグローバル変更の実行

冊子でグローバルな変更を実行するには、次のいずれかの役割権限が必要です。

- リポジトリ管理者(機関レベルの範囲が必要)
- リポジトリアドミン (機関レベルの範囲が必要)

所蔵情報の変更ジョブを実行することで、冊子の所蔵情報を更新することができます。ジョブを使用して行うことができる変更は次のとおりです。

- 書誌レコードに保存されている値を使用して、所蔵の請求番号を更新します ([請求番号の所蔵へのマッピング](#)を参照)。
- 定義済みの正規化ルールセットを使用してデータを修正します ([正規化ルールの操作](#)を参照)。
- Primoを含む外部ディスカバリーシステム間で所蔵の公開/非公開を設定します ([PrimoからAlmaレコードを非公開にする](#)を参照)。

ジョブ実行後、ジョブレポートは更新されたレコード数と、失敗したレコードの有無を識別します。

所蔵レコードのグローバル変更を実行する方法

- 所蔵情報の変更ジョブを実行します。詳細については、[定義済みセットでの手動ジョブの実行](#)を参照してください。

書誌レコード間での所蔵の移動 (再リンク)

所蔵を再リンクするには、次のいずれかの役職が必要です:

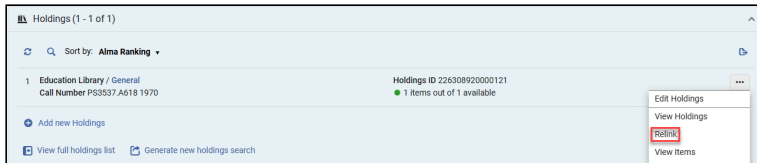
- リポジトリマネージャー
- 冊子目録オペレーター

アイテムを別の書誌レコードに再リンクできるのは、ソースとターゲットの両方の所蔵レコードがユーザーの役割の範囲内にある場合のみです。

所蔵レコードを別の書誌レコードに再リンクすることができます。この操作により、関連するPO Lineがリンクされている書誌レコードも更新されます。

所蔵レコードを再リンクする方法

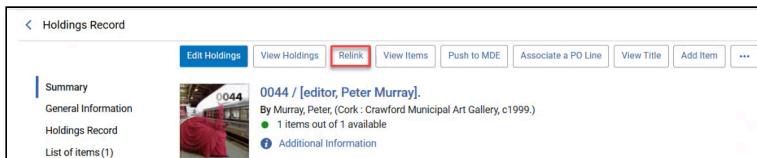
- 物理的タイトルを検索する所蔵詳細セクションから、行の再リンクアクションを選択します。



所蔵セクション - 行の再リンクアクション

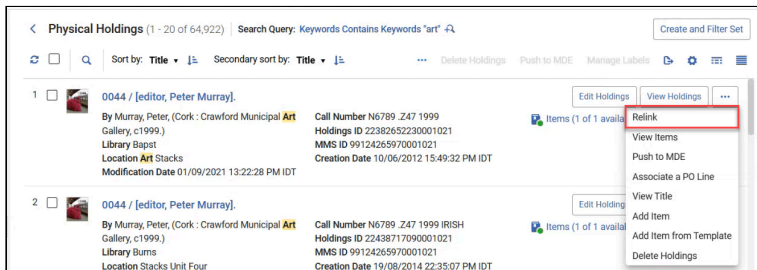
OR

所蔵記録に移動し、再リンクアクションを選択します。



所蔵記録 - 再リンクアクション

- 物理的所蔵検索から、再リンクアクションを選択します。



物理的所蔵 - 再リンクアクション

所蔵間でのアイテムの移動と所蔵レコードの削除

冊子目録を更新するには、次の役職が必要です:

- リポジトリマネージャー
- 冊子目録オペレータ
- 購入マネージャー
- 購入オペレーター

所蔵間でのアイテムの移動は、移動元と移動先の所蔵レコードの両方がユーザー役職の範囲内にある場合のみ許可されます。

Note

所蔵間でアイテムを移動すると、移動したアイテムの冊子の検索結果に表示される請求番号が、新しい所蔵の請求番号に変わります。

アイテムを別の所蔵レコードに移動させ、(空の)所蔵を削除する方法:

1. リポジトリ検索から、データベース内の複数の所蔵を検索します。「[Almaでの検索](#)」を参照してください。

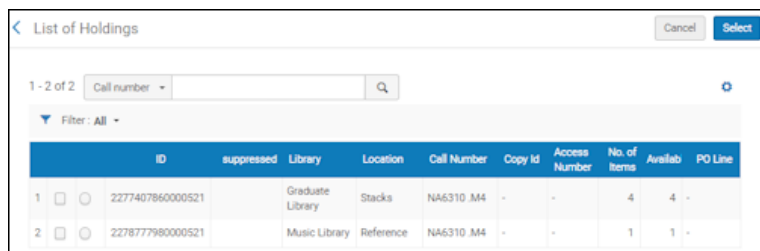
- 結果リストから、複数所蔵されている書誌レコードのアイテムを選択します。



複数所蔵されているレコード

アイテムリストページが表示されます。[アイテムリストの操作](#)を参照してください。

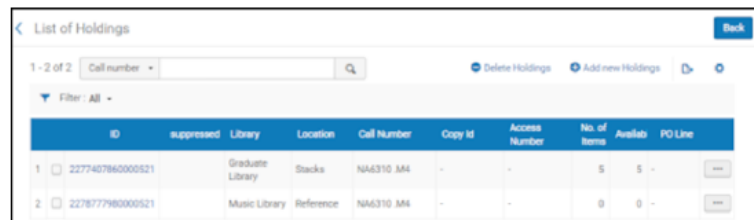
- 移動するアイテムのチェックボックスを選択し、**選択項目を管理する > 所蔵を変更する**を選択します。1つのアイテムだけを移動させたい場合は、行のアクションリストで場所の**変更**を選択します。所蔵のリストページが表示されます。[所蔵リストの操作](#)を参照してください。



所蔵ページのリスト

- アイテムを移動させる所蔵場所を選択し、**[選択]**を選択します。アイテムのリストページには、処理された内容を確認する情報メッセージが表示されます。
- [すべての所蔵を表示する]**リンクを選択します。

更新された所蔵リストのページが表示されます。



所蔵リストの更新されたすべての所蔵を表示

- アイテムがゼロである所蔵を削除するには、その所蔵行を選択し、**所蔵を削除**を選択し、確認ダイアログボックスで**確認**を選択します。所蔵リストが更新され、**変更内容**とリストから削除された所蔵レコードに関するメッセージが表示されます。

Note

最後の所蔵レコードを削除すると、書誌レコードを削除/非表示にするかどうかをユーザーに尋ねます。

所蔵レコードの保持

[2026年2月開始]

特定のメタデータを持つ所蔵資料を「保持確定」と定義すれば、たとえ所蔵に資料が含まれていなくても、それらが削除されないよう保護することができます。保持機能は 手動による削除および一括削除をブロックします。

Note

所蔵由来の保持は資料には紐づけられません。つまり、資料は所蔵の保持ステータスを受け継ぎません。資料が削除されないように保護するには、資料エディタでその資料自体を保持するように定義する必要があります。

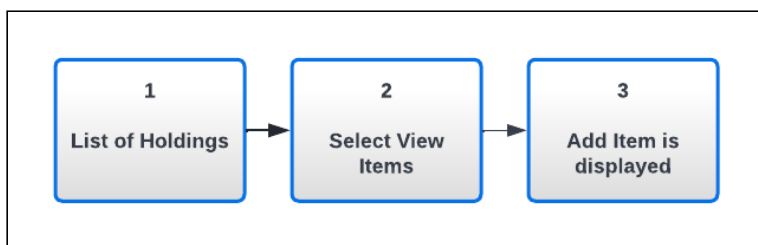
保持ルールを定義する方法：

1. 設定 > リソース > コレクション保持 > 所蔵レコード保持の定義に移動します。
2. 行を追加を選択します。
3. 保持を確定した所蔵レコードを識別するために使用するMARCフィールドおよびサブフィールドを定義してください。値を定義すると、MARCフィールドにその値と完全に一致するレコードのみが確定します。値を空のままにすると、定義されたフィールドの値を持つすべてのレコードが確定します。
4. カスタマイズを選択して保存します。
5. 保持したい所蔵にメタデータを追加します。
次の手順を（以下の順序で）実行するれば、すぐに「保持確定」の表示がアナリティクス用にインデックス化されたことを確認できます。
 1. テーブルに保持ルールを定義します。
 2. 所定のMARCフィールドを使用して所蔵レコードを更新します。

所蔵リストの操作

[所蔵リスト] ページに、選択したリソースの所蔵（MMS IDリンク付き）が表示されます。次の場合に利用可能です。

- リポジトリで検索した後（[Almaでの検索](#)を参照）、複数の所蔵レコードを持つ物理アイテムに対して所蔵を選択する、または
- [アイテムのリスト] ページ（[アイテムのリストの操作](#)を参照）または[物理アイテムエディター] ページ（[アイテムレベルの情報の更新](#)を参照）で [すべての所蔵を表示] を選択する。



ワークフロー - 複数の所蔵レコードがあるアイテムを追加する
単数の所蔵 - アイテムを追加するとすぐに表示されます

Note

所蔵レコードが1つしかない場合、リポジトリ検索後に〔所蔵〕を選択すると、〔MARCシンプルレコードビュー〕ページが開きます。[シンプルレコード表示ページでメタデータを読み取り専用で表示する](#)を参照してください。単一の所蔵レコードのアクション（注文明細の関連付けアクションなど）にアクセスする必要がある場合は、（冊子タイトル検索ではなく）全タイトル検索を使用して、検索結果リストから目的の書誌レコードの所蔵を選択することができます。この関心のある単一の所蔵レコードが表示される所蔵リストページと、所蔵レコードのアクションにアクセスするためのボタンを開きます。

所蔵リストをフィルタリングして、利用可能なアイテムの所蔵のみを表示することができます。

以下のアクションは、各所蔵で利用可能です。

- ・〔表示〕 - MARCのシンプルな〔レコード表示〕ページを開きます。[シンプルレコード表示ページでの読み取り専用メタデータの表示](#)を参照してください。
 - ・〔編集〕 - MDエディタページで所蔵を編集します。詳細については、[プッシュされたレコード](#)を参照してください。
 - ・〔MDEにプッシュ〕 - 後で作業するために、所蔵をMDエディタページにプッシュします。詳細については、[〔MDエディタページ〕のナビゲーション](#)を参照してください。ご自身の役職の範囲内の所蔵のみがMDEにプッシュされます。
 - ・〔再リンク〕 - MDエディタの分割表示で、所蔵レコードを書誌レコードに再リンクします。詳細については、[書誌レコード間での所蔵の移動（再リンク）](#)を参照してください。
 - ・〔アイテムの表示〕 - 〔アイテムリスト〕ページで所蔵レコードに関連付けられているアイテムを表示します（[アイテムのリストの操作](#)を参照）。
 - ・〔注文明細の関連付け〕 - 注文明細を所蔵に関連付けます。注文明細を選択し、〔更新〕を選択します。物的連続タイプの注文明細のみ選択できます。関連付けられた注文明細が注文明細列に表示されます。関連付けられた注文明細を削除するには、〔注文明細の関連付け〕を再度選択し、選択した注文明細を〔注文明細〕ボックスから削除します。
-

Note

〔ユーザーの詳細〕ページで関連するユーザーロールに定義された図書館範囲内でのみ、所蔵レコードを操作できます。[ユーザー役職の管理](#)を参照してください。図書館が図書館範囲とは異なる所蔵レコードを操作しようとする、レコードに対して次のアクションが使用できません：編集、MDEへのプッシュ、再リンク。

空の所蔵レコードを削除するには、所蔵リストから所蔵レコードを選択し、〔所蔵を削除〕を選択します。アイテムを含む所蔵レコードを削除することはできません。

新しい所蔵を追加するには、〔新しい所蔵を追加〕を選択します。MDエディタが開き、〔所蔵リスト〕ページで特定の書誌レコードに関連付けする新しい所蔵レコードを追加できます。添付されている書誌レコードが開かないため、新しい所蔵レコードの作成が完了したときに書誌レコードを解除する追加の手順はありません。

MDエディタで新しい所蔵レコードの追加が完了したら、〔保存して解除〕を選択し、〔戻る〕を選択して〔所蔵のリスト〕ページに戻ります。


所蔵レベルの請求番号の生成

852フィールドの\$hを使用すると、アイテムの所蔵レベルの情報をアップデートし、請求番号を生成できます。

Note

- 所蔵レベルで「受入番号」を適用するには、図書館+場所の「冊子配架場所」設定を「受付配置」で設定する必要があります。[受入番号の設定](#)を参照してください。
- 生成された番号を格納する852サブフィールドは、\$hまたは\$jまたは\$pにすることができます。正確なフィールドは【冊子配架場所】表>【受付配置】フィールドで設定されます。以下のテーブルは、受入番号の配置として852 \$\$hを示しています。ただし、他の配置（\$jまたは\$p）が物理的配架場所表で定義されている場合にも、同じロジックが適用されます。
- デフォルトでは、サフィックスの連結は無効になっています。Ex Librisのスタッフに連絡して、所属機関と連携してアクティブ化してください。

次のいずれかの方法を使用して、所蔵の請求番号を生成します。

次の場合に使用します。	次を行います：
プレフィックスがAlmaにすでに存在しているため、ユーザーはそれを入力したいと考えています。	<p>852フィールドの\$hに、シーケンスの正確なプレフィックスを入力し（受入番号設定テーブルで設定されているように。受入番号の設定を参照）、次に「?」および（オプションで）接尾辞を入力します。次に、（【アクションの記録】メニューで）【受入番号の生成】を選択するか、Ctrl+Shift+Aを押します。</p>  <p>ABCプレフィックスがAlmaの既存のプレフィックスである場合。</p> <p>システムは、指定されたプレフィックス+シーケンス（+接尾語）を852 \$hに入力します。</p>
プレフィックスはAlmaにすでに存在しており、リストから選択したいと考えています。	<p>852フィールドの\$hを空のままにして、（【アクションの記録】メニューの）【受入番号の生成】を選択するか、Ctrl+Shift+Aを押します。</p>  <p>図書館と場所に一致するプレフィックスのリストが表示されます。必要なプレフィックスを選択します。システムはそれを「プレフィックスを選択」フィールドに表示します。必要なプレフィックスを選択します。</p> <p>アイテムの所蔵図書館がいずれかのシーケンス設定の図書館と一致しない場合、システムは機関レベルのシーケンス設定を探します。</p>
プレフィックスはAlmaに存在しないため、設定する必要があります。	<p>852フィールドの\$hに、シーケンスに必要なプレフィックスを入力してから、「?」（疑問符）および（オプションで）接尾辞を入力します。次に、（【アクションの記録】メニューで）【受入番号の生成】を選択するか、Ctrl+Shift+Aを押します。</p>

次の場合に使用します。	次を行います：
<p>Note</p> <p>この方法はデフォルトでは無効になっています。これを有効にするには、次の顧客パラメータをTrueに設定します（[設定メニュー]>[リソース]>[一般設定]>[その他の設定]）： <code>accession_number_applicative_seq</code> および <code>item_call_numbers_generate_enable</code>。</p>	<div data-bbox="797 212 1300 254" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> 852 5 \$\$b Connelly \$\$c Main \$\$h PRF?SFX </div> <p>PRFプレフィックスが Alma に存在しない場合。</p> <p>システムは、指定されたプレフィックス+シーケンス（+接尾語）を852 \$hに入力します。さらに、Almaは将来の使用のためにこのプレフィックスを保存します（受入番号の設定表で、受入番号の設定を参照）。</p> <p>受入番号を変更するには、852 \$hの値を削除します。[受入設定]ページにリダイレクトされます。ここで、別の受入番号を選択して、[選択]を選択できます。これにより、メタデータエディターに自動的に戻り、選択した値が852 \$hに入力されます。</p>

追加の所蔵レコード情報

所蔵レコードに関する詳細については、次のセクションを参照してください。

- [MDエディタのナビゲーション](#)
- [シェルフリポートを使用した冊子目録の管理](#)
- [インポートプロファイルを使用したレコードのインポート](#)
- [インポートプロファイルの管理](#)
- [請求番号の所蔵へのマッピング](#)
- その他のセッティングの設定（リソース管理）
 - [use_marc_record_holdings_template](#)
 - [call_number_type](#)
- [所蔵レコードの請求番号タイプの使用事例](#)

所蔵レコードの請求番号タイプの使用事例

この使用例では、インポートプロファイルを使用して、書誌レコード086から所蔵レコードに請求番号情報が適切にマッピングされるように、請求番号タイプ（852ファーストインジケータ）を3に設定する方法について説明します。

インポートプロセスでは、次の方法と優先順位を使用して852第1インジケータの請求番号タイプを管理することができます。

1. 所蔵のデフォルトテンプレートで請求番号タイプを定義します。

MDエディタでデフォルトの所蔵テンプレートを開き（[リソース>目録>メタデータエディタを開く]）、852第1インジケータを3に設定します。

`use_marc_record_holdings_template` の顧客パラメータ（[設定メニュー>リソース>一般>その他の設定]）を**true**にセットします。これを行うと、インポートプロファイルで自動的に作成される所蔵レコードに、デフォルトの所蔵テンプレートが使用されます。

デフォルトの所蔵テンプレートを使用する他のワークフローでも、852第1インジケータが3に設定されることに注意してください。

2. インポートプロファイルで使用される、図書館の特定の配架場所の請求番号タイプを定義します。

インポートプロファイルで識別された図書館については、図書館の請求番号タイプを、852第1インジケータが3に一致するタイプに設定します。この操作は〔冊子配架場所の編集〕ページの〔所蔵設定〕セクションで行います（〔設定メニュー〕>〔図書館のロケーションを選択〕>〔一般〕>〔配架場所〕>〔冊子配架場所〕）。

Code	Name	Description	Check In	Check Out	Reshelve
1	DEFAULT_CIR...	Bapst Circulation Desk	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

図書館所蔵設定の請求番号タイプ

この例では、文書監督分類の請求番号タイプが選択されています。

この図書館の特定の配架場所向けのインポートプロファイルを使用して、所蔵レコードが自動的に生成されると、852第1インジケータが3（文書監督分類に対応する請求番号タイプ）に設定されます。

この操作は他の場所には影響しないことに注意してください。

3. 所属機関のデフォルトの請求番号タイプを定義します。

call_number_typeの顧客パラメータ（〔設定メニュー〕>〔リソース〕>〔一般〕>〔その他の設定〕）を3にセットします。

この設定は、すべての所蔵の自動作成に適用されます。前の方法のいずれかによって852第1インジケータが指定されない限り、852第1インジケータはすべて3として作成されます。

これらのメソッドを実装して852の最初のインジケータを3に設定した後、インポートプロファイルを使用した所蔵レコードの自動作成では、請求番号マッピングが使用され、書誌請求番号情報が所蔵レコードに適切にマッピングされます。

インポートプロファイルの「所蔵の請求番号を更新する」オプションは、具体的には、空の請求番号で書誌レコードの既存の所蔵の請求番号を更新することを指していることに注意してください。

Input Record Tag	Input Record Subfields	Holdings Record Tag	Holdings Record Subfields	
1	086	a	852	h

所蔵請求番号パラメータを更新